

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	環境保全課長 小関 俊典	
		主管課(関係課)【2】	環境保全課	
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】	
環2-1 環境意識の高揚		持続可能な社会を確立するために	環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】
	環境問題に市民一人ひとりが取り組み、日常生活の中で実践していくためには、環境学習や情報提供を行うことが重要です。平成20年7月にオープンしたエコプラザ西東京を拠点に、市民・行政・事業者それぞれが環境問題へ取り組むことができるよう、西東京市ならではの環境問題への取組を進めていくことが重要です。		・エコプラザ西東京を中心とした環境学習活動の展開 ・地域特性に沿った環境問題への取組	環境を大切にすべく、みづくりや環境学習の推進を通して、市民・事業者及び行政の環境意識の高揚をめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】			
◇経済産業省の調査によると、中小事業所について、省エネ意識が高いものの他の経営課題が優先され、環境対策に着手できないという傾向があります。				
事業群	事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
	1	環境を大切にする地域のしくみを形成します	環境マネジメントシステムによる環境配慮行動の推進	
	2	市民・事業者に向けた環境学習の普及に努めます	エコプラザ西東京を活用した環境学習の推進、場の提供	

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24	
成果指標【12】	指標1	名称	「環境学習の場や機会の提供」に対する市民満足度		目標値	30%		単位	%	
		算出式・説明	環境問題に対しては市民一人ひとりの意識や取組が非常に重要です。その向上のために、市としても環境学習の場や機会を提供していくことが必要です。市民意識調査で把握します。		実績値	18.3	18.3	18.3	15.9	
		達成率	61%	61%	61%	53%				
	指標2	名称	環境マネジメントシステム導入済み事業所数		目標値	25箇所		単位	箇所	
		算出式・説明	環境問題に対しては一般家庭よりも環境負荷が多い事業所の取組が重要です。そのために市が推進している環境マネジメントシステムの普及、啓発が必要です(数値はエコアクション21登録事業所の箇所数)。		実績値	0	0	5		
		達成率	0%	0%	20%	0%				
	指標3	名称	環境フェスティバルの参加者数		目標値	2,500人		単位	人	
		算出式・説明	環境に関する催しを実施することで、市民の環境意識を高め、自発的に環境活動に取り組む人材を広げることが必要です。		実績値	1935	1500	3340		
		達成率	77%	60%	134%	0%				
	指標4	名称	環境リーダー養成講座修了者数		目標値	100人		単位	人	
		算出式・説明	環境リーダーの養成を行うことで、環境学習事業の推進・普及を円滑にすることができま。		実績値	22	50	59		
		達成率	22%	50%	59%	0%				
達成率の平均値				40%	43%	69%	13%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	18.2%	満足度(%)	15.9%
満足度(平均ポイント)	-0.12	満足度(平均ポイント)	-0.14
重要度(%)	67.9%	重要度(%)	86.2%
重要度(平均ポイント)	0.87	重要度(平均ポイント)	1.46

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	■ まだ未達成 □ ほぼ達成 □ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	□ 平均を下回る ■ ほぼ平均 □ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□ 弱くなっている ■ 以前と同程度 □ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	□ 平均を下回る □ ほぼ平均 ■ 平均を上回る	
総合評価	施策内容の方向性【20】	■ 拡充 □ 現状維持 □ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化		
	施策実施方針【22】	Ⅱ コストは現状を維持しながら、成果を向上すべき施策領域		
【一次評価後の事情変更等】		なし		
【行革本部評価】		なし		
総合評価	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化		
	判断理由等【24】	環境意識の高揚については、エコプラザ西東京における環境学習の普及に努めてきたほか、市内事業所に対して環境マネジメントシステムの導入促進を図ってきましたが、環境フェスティバルの参加者数の増加していることを除き、成果目標の達成が難しい状況となっています。市民意識調査における重要度認識も相対的に高いことから、施策内容を拡充すべきと読み取ることができますが、既に現在の施策内容が「環境リーダー」の養成等により更なる環境意識の高揚を目指すものとなっていることから、当面は現状ベースを維持すべきものと判断しました。		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域	

【施策内の事務事業貢献度判定】

環2-1 環境意識の高揚

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
	環境基本計画重点プロジェクト推進協議会の設置	環境保全課	(環2-4 地球温暖化対策地域推進計画の策定・運用で実施) 国が求める「地球温暖化対策地域推進計画」の策定を行い、これに基づく市内温室効果ガス削減事業を実施します。
2	環境フェスティバルの開催	環境保全課	(環境情報の提供及び環境学習の推進で実施) 環境保全の拠点施設として機能を持つ「エコプラザ西東京」の設置にあわせ、環境に配慮した意識を醸成するため、6月の環境月間に併せ環境保全等に関する様々なイベントを行っています。
	環境情報の提供及び環境学習の推進	環境保全課	エコプラザ西東京を環境学習の拠点として位置づけ、環境講座の開催、環境情報の収集により、市民へ環境意識啓発を行います。また、環境に関する専門知識、技術をもつ人材を養成、登録し、市内の環境講座等に講師派遣を行い、環境学習活動を活性化します。
	環境リーダーの養成及び活用	環境保全課	環境に関する基礎知識等の習得を目的として環境リーダーの養成を行っています。また、講座修了した者をエコプラザ協力員や講座講師として活躍してもらいながら、市民に対する環境啓発事業を推進します。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事業費		事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費				
0	0	0	-	-	公共施設の環境負荷の削減と環境保全事業の推進を進行管理し、継続的改善を行うことができます。	A
0	0	0	-	-	西東京市環境基本計画(後期計画)において推進体制として位置づけ、計画事業の進行管理等を行います。	B
0	0	0	-	-	環境フェスティバルを開催して、広く市民に環境意識への啓発を図ることができます。	B
25,219	10,505	14,714	継続実施 (平成21年度)	上	社会的に環境問題が重要視されており、講座、イベント等の実施により市民への環境問題への取組みを促すことができます。	B
988	180	808	継続実施 (平成21年度)	上	平成22年度にリーダーが企画した講座の実施を行うなど、環境啓発事業に貢献します。	B
26,207	10,685	15,522				